

## 地域貢献への取り組み

### 社会貢献活動

琉球銀行は、社会貢献活動も地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全活動への助成など、さまざまな活動に取り組んでいます。

### 地域福祉への支援活動

平成19年7月、りゅうぎんユイマール助成会※から新潟中越沖地震の被災者へ義援金を贈呈しました。9月、10月には大型台風の被害の多かった離島地区(久米島、八重山地区)に対して災害義援金を贈呈しました。8月には難病患者に対する支援事業をしている特定非営利活動法人「アンビシャス」に対して複合機(ファクス、スキャナー機能付きのコピー機)の購入資金を助成しました。また、琉球銀行は公益信託契約代理店として、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻(うるま)福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営にたずさわっています。

### 芸術文化支援活動

芸術・文化活動の支援として、沖縄県内の若手工芸家の育成と伝統工芸である紅型を広く紹介することを目的に、りゅうぎん紅型デザイン公募展を毎年開催しています。今年は応募された力作の中から、瑞慶山和子さんの「虹の中に咲く花々」が大賞に選ばれ、琉球銀行の2008年カレンダーの図柄として採用されることになりました。「デザイン賞」には座波千明さんが選ばれ、紅型公募展初の高校生受賞者となりました。

また、地域への社会貢献と県内の若手芸術家育成を目的に、平成10年より「りゅうぎんふれあいコンサート」を開催しています。これまで、クラシックコンサート、組踊、オペラ、バレエなどの公演に、学生や福祉施設の障害のある方など約7,000名を招待してきました。今年も12月には第9回りゅうぎんふれあいコンサート「残波大獅子太鼓」を開催し、福祉施設の1,500名のお客さまを招待する予定です。

※りゅうぎんユイマール助成会

りゅうぎんユイマール助成会」は、平成5年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役職員から200万円の募金が集まった場合、銀行も200万円を拠出し、合計400万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、257件、1億1,147万円となりました。(平成19年11月30日現在)



台風被災地区への義援金贈呈



源河朝明記念那覇市社会福祉基金  
助成金授与式



紅型公募展贈呈式